

平成17年9月期 第1四半期財務・業績の概況(個別) 平成17年2月14日

上場会社名 ジョルダン 株式会社 (コード番号: 3710 大証ヘラクレス G)
 (URL <http://www.jorudan.co.jp/>)
 問合せ先 代表者役職・代表取締役社長 佐藤 俊和 (TEL:(03)5369 4051)
 責任者役職・取締役経営企画室長 岩田 一輝

1 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 有(大阪証券取引所の定める「ニッポン・ニュー・マーケット-「ヘラクレス」に関する有価証券上場規程、業務規程、信用取引・貸借取引規程及び受託契約準則の特例の取扱い」の別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づき、平成16年9月期第1四半期及び平成17年9月期第1四半期について中央青山監査法人の四半期財務諸表(四半期貸借対照表及び四半期損益計算書)に対する手続きを受けております。)

2 平成17年9月期第1四半期の財務・業績概況(平成16年10月1日～平成16年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況 (単位:百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年9月期第1四半期	447	51.0	118	83.0	119	73.3	67	146.6
16年9月期第1四半期	296		64		68		27	
(参考)16年9月期	1,391		295		301		150	

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
17年9月期第1四半期	12	76		
16年9月期第1四半期	5	17		
(参考)16年9月期	26	82		

- (注) 1 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示します。
 2 第1四半期財務諸表は平成16年9月期第1四半期より作成しております。従って平成16年9月期第1四半期の対前年同四半期比増減率については記載しておりません。
 3 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 財政状態の変動状況 (単位:百万円未満切捨)

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円	銭
17年9月期第1四半期	1,507		1,267		84.1		241	24
16年9月期第1四半期	1,278		1,097		85.9		208	85
(参考)16年9月期	1,477		1,220		82.6		230	50

3 平成17年9月期の業績予想(平成16年10月1日～平成17年9月30日)

業績予想に変更はありません。

以上

添付書類

財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

科目	注記 番号	当四半期 (平成17年9月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年9月期 第1四半期末)	増減		(参考) 平成16年9月期
		金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)						
流動資産						
1	現金及び預金	938,947	806,782	132,164	16.4	882,133
2	受取手形		305	305	100.0	1,680
3	売掛金	279,562	157,964	121,598	77.0	302,402
4	製品	87	7,268	7,181	98.8	69
5	原材料	324	449	124	27.8	324
6	仕掛品		6,094	6,094	100.0	
7	前渡金	67	9,997	9,930	99.3	7,734
8	繰延税金資産	51,644	54,105	2,460	4.5	60,922
9	その他	12,775	9,331	3,444	36.9	11,908
10	貸倒引当金	1,000	450	550	122.2	960
	流動資産合計	1,282,409	1,051,849	230,559	21.9	1,266,216
固定資産						
1	有形固定資産					
	(1) 建物	5,290	2,655	2,635	99.3	5,527
	(2) 車両運搬具	1,971	2,894	923	31.9	2,142
	(3) 工具器具備品	26,553	29,586	3,033	10.3	25,797
	有形固定資産合計	33,815	35,136	1,320	3.8	33,467
2	無形固定資産					
	(1) 特許権	5,729	6,979	1,249	17.9	6,041
	(2) ソフトウェア	32,835	40,071	7,235	18.1	31,851
	(3) 電話加入権	1,079	1,079			1,079
	無形固定資産合計	39,644	48,130	8,485	17.6	38,972
3	投資その他の資産					
	(1) 投資有価証券	27,990	29,390	1,400	4.8	28,387
	(2) 関係会社株式	27,000	20,000	7,000	35.0	20,000
	(3) 敷金保証金	63,078	42,452	20,626	48.6	52,910
	(4) 繰延税金資産	33,650	51,216	17,565	34.3	37,946
	投資その他の資産合計	151,718	143,058	8,660	6.1	139,244
	固定資産合計	225,178	226,324	1,146	0.5	211,684
	資産合計	1,507,587	1,278,174	229,413	17.9	1,477,900

科目	注記 番号	当四半期 (平成17年9月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年9月期 第1四半期末)	増減		(参考) 平成16年9月期	
		金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	
(負債の部)							
流動負債							
1		105,105	79,227	25,877	32.7	86,219	
2		23,726	25,045	1,318	5.3	20,387	
3		39,803	18,262	21,540	118.0	71,236	
4		10,697	7,019	3,678	52.4	16,319	
5		13,879	4,501	9,378	208.3	17,015	
6		12,024	11,092	931	8.4	2,101	
7		13,470	15,143	1,673	11.0	25,400	
8		18,586	16,690	1,896	11.4	16,685	
9		2,737	3,674	936	25.5	1,751	
		流動負債合計	240,030	180,656	59,374	32.9	257,115
		負債合計	240,030	180,656	59,374	32.9	257,115
(資本の部)							
		資本金	277,375	277,375		277,375	
資本剰余金							
1		資本準備金	284,375	284,375		284,375	
		資本剰余金合計	284,375	284,375		284,375	
利益剰余金							
1		利益準備金	3,600	3,600		3,600	
2		任意積立金	20,000	20,000		20,000	
3		当期末処分利益	682,483	512,168	170,315	33.3	635,434
		利益剰余金合計	706,083	535,768	170,315	31.8	659,034
		自己株式	276		276		
		資本合計	1,267,557	1,097,518	170,039	15.5	1,220,784
		負債資本合計	1,507,587	1,278,174	229,413	17.9	1,477,900

(2) 四半期損益計算書

科目	注記 番号	当四半期 (平成17年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成16年9月期
		金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
売上高		447,121	296,067	151,054	51.0	1,391,374
売上原価	1	218,348	141,522	76,825	54.3	708,628
売上総利益		228,773	154,544	74,228	48.0	682,746
返品調整引当金戻入額		16,685	21,524	4,839	22.5	21,524
返品調整引当金繰入額		18,586	16,690	1,896	11.4	16,685
差引売上総利益		226,872	159,379	67,492	42.3	687,586
販売費及び一般管理費	1	108,104	94,485	13,619	14.4	391,936
営業利益		118,767	64,894	53,873	83.0	295,649
営業外収益		1,263	4,337	3,073	70.9	6,109
1 受取利息		6	3	3	86.2	11
2 受取配当金		700	3,800	3,100	81.6	4,050
3 受取事務代行手数料		485	485			1,942
4 雑収入		71	48	23	47.7	105
営業外費用		591	311	280	89.8	251
1 支払利息			27	27	100.0	27
2 為替差損		578	71	506	712.0	
3 雑損失		13	213	199	93.6	224
経常利益		119,440	68,920	50,519	73.3	301,508
特別利益			250	250	100.0	7,549
1 貸倒引当金戻入額			250	250	100.0	
2 役員・主要株主 株式売買利益金						7,549
特別損失			21,524	21,524	100.0	26,950
1 固定資産除却損	2					4,424
2 投資有価証券評価損						1,002
3 過年度返品調整引当金 繰入額			21,524	21,524	100.0	21,524
税引前四半期(当期) 純利益		119,440	47,645	71,794	150.7	282,106
法人税、住民税 及び事業税		38,807	19,022	19,784	104.0	123,763
法人税等調整額		13,573	1,428	12,144	850.2	7,881
四半期(当期)純利益		67,058	27,194	39,864	146.6	150,460
前期繰越利益		615,424	484,973	130,450	26.9	484,973
四半期(当期) 未処分利益		682,483	512,168	170,315	33.3	635,434

四半期財務諸表作成の基本となる重要な事項

項目	当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
1 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>(2) たな卸資産 製品 個別法に基づく原価法 原材料 最終仕入原価法による原価法</p>	<p>(1) 有価証券 子会社及び関連会社株式 同左 その他有価証券 時価のないもの 同左</p> <p>(2) たな卸資産 製品・仕掛品 個別法に基づく原価法 原材料 同左</p>	<p>(1) 有価証券 子会社及び関連会社株式 同左 その他有価証券 時価のないもの 同左</p> <p>(2) たな卸資産 製品 個別法に基づく原価法 原材料 同左</p>
2 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法 なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産 特許権 定額法 市場販売目的のソフトウェア 販売可能な見込有効期間(3年以内)に基づく定額法 自社利用目的のソフトウェア 社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p> <p>(2) 無形固定資産 特許権 同左 市場販売目的のソフトウェア 同左 自社利用目的のソフトウェア 同左</p>	<p>(1) 有形固定資産 同左</p> <p>(2) 無形固定資産 特許権 同左 市場販売目的のソフトウェア 同左 自社利用目的のソフトウェア 同左</p>
3 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。</p>	<p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p>	<p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p>

項目	当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
	(3) 返品調整引当金 製品の返品による損失に備えるため、過去の返品実績率に基づく返品損失見込額を計上しております。	(3) 返品調整引当金 同左	(3) 返品調整引当金 同左
4 その他(四半期)財務諸表作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 同左	消費税等の会計処理 同左

会計処理の変更

当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
	<p>(返品調整引当金)</p> <p>従来、返品に伴う損失は、返品を受けた期間の売上高の控除として処理しておりましたが、販売戦略上の関係から、新製品の発売サイクルが短縮されたこと等により、返品的重要性が増加してきたところから、より適正な期間損益計算を図るため、当第1四半期会計期間より、過去の返品実績率に基づく返品損失見込額を返品調整引当金として計上する方法に変更いたしました。</p> <p>この結果、従来の方法によった場合に比べ、差引売上総利益、営業利益及び経常利益がそれぞれ4,834千円増加し、税引前第1四半期純利益が16,690千円減少しております。</p>	<p>(返品調整引当金)</p> <p>従来、返品に伴う損失は、返品を受けた期間の売上高の控除として処理しておりましたが、販売戦略上の関係から、新製品の発売サイクルが短縮されたこと等により、返品的重要性が増加してきたところから、より適正な期間損益計算を図るため、当事業年度から、過去の返品実績率に基づく返品損失見込額を返品調整引当金として計上する方法に変更いたしました。</p> <p>この結果、従来の方法によった場合に比べ、差引売上総利益、営業利益及び経常利益がそれぞれ4,839千円増加し、税引前当期純利益が16,685千円減少しております。</p>

表示方法の変更

当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)
	<p>前期まで営業外費用の「雑損失」に含めて表示しておりましたが「為替差損」については、当第1四半期会計期間において営業外費用の総額の百分の十を超えることとなったため、当第1四半期会計期間より区分掲記することといたしました。なお、前期の「為替差損」は1,015千円であります。</p>

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

当四半期 (平成17年9月期第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期末)	(参考) 平成16年9月期
有形固定資産の減価償却累計額 34,391千円	有形固定資産の減価償却累計額 30,281千円	有形固定資産の減価償却累計額 31,510千円

(四半期損益計算書関係)

当四半期 (平成17年9月期第1四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期第1四半期)	(参考) 平成16年9月期
1 減価償却実施額 有形固定資産 2,881千円 無形固定資産 5,452千円 合計 8,333千円	1 減価償却実施額 有形固定資産 3,173千円 無形固定資産 6,081千円 合計 9,255千円	1 減価償却実施額 有形固定資産 13,831千円 無形固定資産 25,208千円 合計 39,039千円 2 固定資産除却損の内容 工具器具備品 1,699千円 ソフトウェア 2,724千円 合計 4,424千円

(リース取引関係)

当四半期(平成17年9月期第1四半期)、前年同四半期(平成16年9月期第1四半期)及び(参考)平成16年9月期

いずれも該当事項はありません。

(有価証券関係)

当四半期(平成17年9月期第1四半期末)、前年同四半期(平成16年9月期第1四半期末)及び(参考)平成16年9月期

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものは、ありません。

(重要な後発事象)

当四半期(平成17年9月期第1四半期)、前年同四半期(平成16年9月期第1四半期)及び(参考)平成16年9月期

いずれも該当事項はありません。